

江東屋上菜園瓦版 No.98

水彩都市江東 ころも美しい日本の再生 安全・安心まちづくり

お江戸観光エコシティー 江東屋上菜園の会 江東区千田 13-10

「伝統の江戸東京野菜」に注目！

3・11 被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。

5月の収穫は、ジャガイモ 1000g、シュンギク、アカカブ 600g、砂村ネギ 430g、ワケギ、ニンジン、亀戸ダイコン 400g、グリーンピース 250g、イチゴ 150g 等の 4.4kg だった。

江東区砂町文化センターで「伝統の江戸東京野菜講座」が始まった。「江戸東京野菜」とは、江戸期から昭和中期まで東京で生産されていた野菜で、固定種や在来の栽培法等に由来するものだ。現在 40 品目が認証されていて、これからも増えていくようだ。

下町では、砂村ネギ、亀戸ダイコン、小松菜、寺島ナス、本田ウリ等が有名で、早稲田ミョウガや練馬大根なども広く出回っていた。

江東区砂町は砂村一本ネギが有名だが、江戸寛文年間（1661～1673）に蔬菜類の促成栽培を始めたと伝えられている松本久四郎は、江戸市中に近郊野菜を供給していた篤農家であった。ナス・キュウリ、インゲンが将軍家に献上され、大いに賞されたと言われている。これからは、江東区でも江戸東京野菜を復活し、食糧自給率を高めるとともに、生物多様性保全に努めたい。（文責 中瀬）



砂村ネギ、人参、亀戸ダイコン
リーフレタス、赤カブ



屋上菜園



ジャガイモの花



ニンジン



赤カブ



リーフレタス



カボチャ



キュウリ



ナス



砂村ネギ



ゴーヤー



まだ青いトマト



シュンギク